

# 畜産ニュース

## 全日本ホルスタイン共進会 県出品牛決る

全日本ホルスタイン共進会は来る3月23日から27日までの5日間、静岡市で開かれるが、県では第2次

の選抜検査を1月19日、20日の両日実施し、その結果、出品牛4頭、候補牛1頭を次表のとおり決めた。

今回の出品及び候補牛は全頭数とも旭東酪農関係のもので、その成績が期待されている。

(表) 第2回全日本ホルスタイン共進会出品牛名簿

名 号	生年月日	産 地	血 統	飼 養 者
オームスピー エスエヌエス オクボンフーア	24.7.2	邑久郡	第五キングオーイスメー・ボンフーア オームスピー・ゴリアスエスエヌエス オクスプリング	邑久郡牛窓町 阿 部 昇
ヘンドリック・バートン・プレース・ マタドーア	27.12.30	"	カーネーション・バートン・ルンドラット 第二ヘンク・マタドーア・オクプレース	邑久郡裳掛村 内 田 生 治
チーチェ・イムペリアル スプリング・チュンギー	30.2.5	"	カーネーション・バートン・ルンド・ラッド チーチェ・オームスピー・オクオーサラス	邑久郡邑久町 小 林 鹿太郎
◎マーチェサ・イムペリアル ヘスター	29.9.17	"	第六〇カーネーション・ガヴァナーイムペリアルラ ラッド ローモントイスメー・オクヘスター	西大寺市 岩 上 健 太
プロスペクト・イムペリアル ロメオセジス	29.2.23	"	カーネーション・バートン・ルンド・ラッド プロスペクト・ロメオデーリーメード・ セジス	西大寺市 成 本 八 郎

## 牛乳の処理対策決る

### 蒜山地区酪農推進協議会

蒜山地区酪農推進協議会は1月15日午後2時から真庭郡八束村中福田、大前旅館で開かれ、惣津県畜産課長、花尾係長、流郷県北部酪農協同組合長、笹井勝山地方事務所経済課長、山田、池本両県議、関係各町村長、農協組合長、乳牛飼育者代表者らが集り、主として牛乳の処理問題について協議した。

現在同地区に飼われているジャージー種乳牛は329頭(飼育農家243戸)で乳をしぼっているのは72頭、毎日2石6斗を生産しているが、すでに川上、八束村は相当量の余剰乳がでており、さらに4、5月になると倍以上の生産が見込まれ、一層過剰状態になるので、真剣に研究討議した結果、次のような対策をきめた。

- 一. 北酪農協と契約して現在勝山町まできている集乳車を湯原町・津津まで上らせ、一方生産者は同所まで搬出する。
- 二. 価格は同所渡しで脂肪率3.2%のもの1升40円、3.2%を超えること0.1%ごとに1升につき1円を加算とし、当分の間2日に1回集乳し、集乳所までの運賃は北酪で負担する。

三. 将来多量に生産するようになった場合は、県としての冷凍装置のある集乳車を回すなど万全の措置を講ずる。

## 県養蜂組合連設立申合せ

1月9日県に県内養蜂家の地区代表約20人を招き、養蜂振興対策協議会を開いた結果、県下約500人にのぼる養蜂家全員で組織する「岡山県養蜂組合連合会」の設立を申合わせた。同組合は養蜂技術指導、蜜源の調査、販売対策の研究養蜂振興対策の研究及び推進などを行う目的でつくられるもので、2月9日初の設立発起人会が開かれた。

## 蒜山地区に酪農協 設立総会開催

蒜山地区に導入されているジャージー種乳牛は今春から原乳生産が本格化するので、牛乳処理運営を主眼に、集乳施設、原乳処理、原乳の販売対策の確立のため、この事業母体として、蒜山酪農農業協同組合設立が計画されていたが、1月16日午前9時から真庭郡八束村中福田、大宮劇場で同協同組合設立総会が開か

## 岡山畜産便り 1956.03

れ、ここに設立を見るに至った。

この農協は真庭郡川上村、八束村を区域とし、ジャージー種乳牛を飼育する農民を正組合員とし、将来乳牛を飼育しようとするもの及びこの組合の施設を利用することが適当と認められる准組合員で組織され、県の酪農振興計画にそい、酪農業の振興を図り、農業の総合的生産力の増進と酪農業の生産能率を挙げ、組合員の経済状態を改善し、社会的地位を高めることを目的として次の事業を行うことになっている。

- 一. 組合員の酪農に必要な共同利用施設の設置（医療関係を除く）
- 二. 組合員の生産する物資の運搬、加工貯蔵又は販売
- 三. 酪農作業の協同化、その他酪農労働の効率の増進に関する施設
- 四. 組合員の酪農に関する技術及び経営の向上を図るための教育並びに組合員に対する一般的情報の提供に関する施設
- 五. 組合員の経済的地位の改善のためにする団体協約の締結
- 六. 前各号の事業に附帯する事業

なお同組合の事務所は真庭郡八束村に置かれ、出資金1口の金額は5千円で全額一時払込となっている。又今後適当な時期をみて、拡大強化される予定。

## 牧野農協認可 真庭郡久世町に設立

畜産振興のための牧野の維持及び改良を図り、組合員の経済的地位の向上を図る目的で、真庭郡久世町の設立発起人代表神尾茂太郎氏から認可申請中であった樫西牧野農業協同組合の設立が12月27日付で認可された。

牧野農協は新見市千屋町の花見、実山成地の3農協に次ぎ設立されたもので、常時1頭以上の牛馬、3頭以上の羊若しくは山羊を飼育するもの又は地区内で1反歩以上の土地を耕作するもので組織され、事務所は久世町大字樫西611番地に置かれた。

なお出資金1口は2千円で全額一時払込となっており、事業内容は次のとおり。

- 一. 畜産振興の為の牧野の維持又は改良に必要な共同利用施設の設置
- 二. 草生の改良に関する施設
- 三. 牧野の害虫駆除及び予防
- 四. 組合員の牧野に関する利用統制若しくは管理
- 五. 組合の施設に係る牧野林の造成並びに処分

六. 組合員の牧野改良に関する経営及び技術の向上を図るための教育

七. 前各号に附帯する事業

## 農村食肉利用促進施設 成羽町設置補助に決る

昭和30年度の肉畜の取引改善、食肉の消費拡大及び食生活の改善を図り、生産者の利益を増進するため、かねてから川上郡成羽町では200万円の予算で農村食肉利用促進施設を設置する計画を進めていたが、この設置に要する経費の5分の1の40万円を助成する旨、このほど農林省から内示があった。

この利用施設は、と殺（と殺場）、加工（加工場）及び冷蔵（冷蔵庫）の3施設を1組として同一場所に設置されるもので、成羽町では年度内にこの施設を完成すべく事業を進めている。

## 花尾氏豪州へ出発

県畜産課経営係長、花尾省治氏はジャージー種乳牛買付けのため、1月30日午前8時53分岡山発快速電車で出発2月1日神戸港から豪州へ向けて出港した。

3月6日マニラ、10日タラカン、21日-23日ブリスベンを経て、2月25日豪州シドニーに着く。25日-27日シドニー、29日-3月2日メルボルン、4日-6日アデレード、14日-16日メルボルン、18日-21日シドニー、23日-26日ブリスベン、3月26日同地発、4月9日横浜帰港の予定である。

## 去勢牛の肥育法を实地指導 3地区で講習会

最近の去勢牛肥育熱の高まりから、その品質向上をねらう講習会が県内3地区で開催された。和気郡畜連主催は1月30日、和気町で、都倉畜連主催は1月31日都窪郡庄村で、高粱畜連主催は2月1日高粱市でそれぞれ行われたが、講師は農林省中国農業試験場畜産部の土屋平四郎技官、吉田正三郎技官で、技術者や一般聴講者が終日熱心に受講した。

土屋氏は肉質がメス牛におとるため市場価格の安い去勢牛でも生後18ヵ月ぐらいの仔牛のころに、一方の甲状腺を除去すると、肉の中にある程度脂肪分が入り、良質の肉ができると去勢牛の合理的な肥育法を説明した。

实地指導では吉田氏の手で、生後17-18ヵ月の仔牛を横臥して、ノドを正中線にそって約15cm切開して片

## 岡山畜産便り 1956.03

側の甲状腺をメスで切る操作を行い注目をひいた。

従来は、オス牛は去勢して使役され又肉牛として一般に認識されて来たが、この手術によってより良質の肉牛としてメス牛に肩をならべることになる。昭和28年に中国農試で試験された手術牛はすでの中央の市場で普通のオス牛より1頭当り1万2千円も高く買われており、某新聞社の机の上の計算では県下に4万頭のオス牛がおるとすれば、これを手術することによって、4億8千万円の増収になるという。とにかく、今後各地でこの講習会が開かれ、どしどし手術が行われてゆけば、大衆の台所は豊富な食肉で賑わうものと大いに期待されるわけである。

## 畜産技術練習生募集

岡山県千屋種畜場（新見市千屋町）は有畜営農を志す農村中堅青年に畜産技術の実務を修得させるため、31年度畜産技術練習生の募集を次の要領で行っている。

募集人員 10人

応募資格 新制高校、旧制中学校卒業の者、新制中学校卒業または旧制高等小学校卒業で2年以上農業に従事した者

修業年限 1ヵ年

手続 志願者は入場願に履歴書、戸籍抄本、身体検査証、最終学校の成績証明書を3月10日までに同場へ提出のこと。